

## 平成 28 年度「消費生活協働促進事業」 協働実施団体決定！

横浜市経済局では、市内活動団体と連携し、お互いの強みを活かし合いながら、地域における「消費者被害の未然防止」や「消費者市民社会<sup>※</sup>の実現」に向けた事業を実施しています。

今年度は 8 団体から事業の提案があり、審査の結果「消費者市民社会の実現」をテーマに次の 2 団体と協働で事業を実施することが決まりました。詳細な実施内容については、今後、経済局ホームページや実施団体のホームページ等でご案内していきます。

### ※消費者市民社会とは

消費者一人ひとりが人や環境に配慮した消費行動を積極的に行う社会のことを言います。

例えば、日常生活で購入する商品が、どこで、どのように作られているかを考えて選択することがその一つです。

### ■ 特定非営利活動法人 森ノオト ■

#### 【事業内容】

横浜産の調味料で地産地消と食の安全を学ぶ講座

#### 【概要】

横浜市内にある調味料生産者を招き、市販されている調味料の素材、製造法を学ぶ勉強会と、その調味料と地産地消の食材を使った食事会（エコクッキングで調理）を開催。消費者が食の安全・安心や地産地消、フードマイレージ<sup>※</sup>について考え、日々の消費生活で地域社会に良好で環境配慮型の経済循環を生み出すことを目指す。

【実施イメージ】（写真は、団体が過去に実施した事業の様子です。）



【団体の目的】（団体のホームページ：<http://morinooto.jp/>）

この法人は、広く一般市民を対象として、環境に配慮し持続可能な地域社会をつくるため、環境保全活動や環境啓発活動を通じて地域交流事業を行い、自然共生・地域循環型のライフスタイルを提案していくことで、人と自然、農が調和できるようなまちづくりの推進に寄与することを目的とする。

### ※フードマイレージとは

食料の輸送量に輸送距離を掛け合わせた指標です。食料輸送に伴う環境負荷の大きさを示すもので、この値が大きいほど、一般的に環境負荷が大きいとされます。

■ 特定非営利活動法人 横浜コミュニティデザイン・ラボ ■

【事業内容】

「地域を知る」、「エシカル※を知る」ソーシャルな消費者養成講座

【概要】

市内で活動する各種団体との協働で、食育・食品ロス・地産地消、環境保全、リサイクル、フェアトレード・コミュニティ経済等をテーマに、講座・セミナー、現場見学会等を実施することにより、年代や性別を問わず地域への啓蒙強化を図り、横浜市内での消費者市民社会の実現を目指す。

【実施イメージ】（写真は、団体が過去に実施した事業の様子です。）



【団体の目的】（団体のホームページ：<http://yokohamalab.jp/>）

この法人は、横浜市民を中心とした地域住民に対して、横浜市域を軸とした地域を対象に、面白く楽しい街づくりの研究・実践機会を提供することを通じて地域コミュニティを新しくデザインすることに関する事業を行い、横浜市民及び広く一般市民の公共の利益の増進に寄与することを目的とする。

※エシカルとは

人や社会、環境に配慮しようとする考え方やそのような商品、サービスを選ぼうとする行動のことを言います。

お問合せ先

経済局消費経済課長 山口 敏子 Tel 045-671-2573